

トランプ氏の言葉 早くつかめば 大金になる？

原稿表示する担当者 演説内容巡り賭けか

米ホワイトハウスは16日、トランプ米大統領が演説する際にカメラの前に原稿を表示するテレプロンプターを操作していた担当者が、演説内容に関する賭けをしていた疑いがあるとして、停職処分にしたことを明らかにした。米メディアによると、様々な話題を賭けの対象とする予測市場「カルシ」でトランプ氏が発する言葉について賭けを繰り返し、10万ドル(約1600万円)超をもうけていたという。

米ABCによると、担当者は2016年からトランプ氏のテレプロンプターを操作。今年1月にあった世界経済フォーラムの年次総会(ダボス会議)の演説や、2月の一般教書演説をめぐり、複数回の賭けをしていたという。

ホワイトハウスのレビット報道官は16日の会見で、トランプ氏がこの件を「大変残念で不名誉だと思っている」としたうえで、担当者を停職処分にしたと明らかにした。

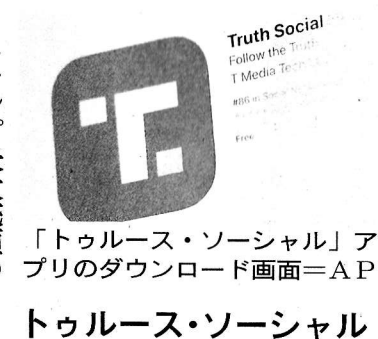
カルシの取り締まり担当者はX(旧ツイッター)への投稿で、問題となった賭けについて既に調査しており、連邦政府の当局にも報告したと述べた。当局に協力し、証拠も提出しているという。カルシやポリマーケットなどの予測市場は、ニュースなどについて様々な賭けを行うことができ、米国を中心に成長している。

(ワシントン=中井大助)

トランプ米大統領のSNS「トゥルース・ソーシャル」(TS)の運営会社は16日、投稿内容にいち早くアクセスできるサービスを投資家向けに売り出すと発表した。トランプ氏は、市場に影響を与える発信をすることも多く、

8月1日から、機関投資家やトレーダー向けに提供するという。英紙フィナンシャル・タイムズは、月額料金は最大10万ドル(約1600万円)で検討されていると報じた。トランプ氏のフォロワーは

約1290万人に上る。イラン攻撃や関税政策、連邦準備制度理事会(FRB)などに関わる重要な情報も発信してきた。投稿内容によって、株価や原油価格が大きく動くことも多い。



「トゥルース・ソーシャル」アプリのダウンロード画面=AP

トゥルース・ソーシャル

「商品化」には批判の声があらがう。運営会社はトランプ氏の親族が筆頭株主になっている。会社は発表で、新サービス「トゥルースAPI」が、「最高位」のアカウントの投稿に通常の通知よりも大幅に速いアクセスを可能にすると説明している。

例えば今年3月、トランプ氏がTSでイランと「生産的な対話」をしたと投稿すると、それまで高騰していた原油価格は一時14%超下落した。運営会社のケビン・マクガ

投資家向け 有料で投稿先取り権

例え今年3月、トランプ氏がTSでイランと「生産的な対話」をしたと投稿すると、それまで高騰していた原油価格は一時14%超下落した。

運営会社のケビン・マクガ

ン暫定最高経営責任者は「TSへの投稿はすでに市場を動かしている」とし、新たなサービスが「継続的な会社の収益源となると期待している」と述べた。

(ワシントン=笠井哲也)